



2018年度「連帯社会」連続講座

主催：公益財団法人 日本労働文化財団
連帯社会研究交流センター

参加費無料
要申込
先着 25名

「連帯社会研究交流センター」は、連合、日本労働文化財団、労働者福祉事業団体、生活協同組合が法政大学と連携して設立した修士課程大学院コース「連帯社会インスティテュート」（通称：連合大学院）の支援・連携組織として、連帯社会構築にむけてのさまざまな研究交流の機会を企画・実施しています。

このたび、「連帯社会」に関わる研究者の方々に問題提起をいただく連続講座を企画いたしました。第6回は、小林正弥氏をお招きして、「コミュニタリアニズムと友愛社会」について、ご講演いただくこととなりました。ご関心のある方々に広くご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、会場整理の都合により参加者は先着 25名様までとさせていただきますので、あらかじめご了承ください。参加申し込み方法につきましては、連帯社会研究交流センター・ウェブサイト上で行なう方法をとらせていただきますので、「イベント・シンポジウム」<<http://recss.jp/event.html>>をご参照ください。

第4回：コミュニタリアニズムと友愛社会

日時 2019年3月16日（土）15：00～17：00（14:30開場）

場所 連合会館3階 連合A・B会議室

講師：小林 正弥 氏

千葉大学大学院人文社会科学部 教授

小林正弥（こばやし まさや）氏のプロフィール
東京大学法学部卒業。東京大学法学部助手、千葉大学法経学部助教授を経て千葉大学教授。2006年より現職。千葉大学公共研究センター共同代表（公共哲学センター長、地球環境福祉研究センター長）。専門は、政治哲学、公共哲学、比較政治。著書に、『サンデルの政治哲学 〈正義〉とは何か』（平凡社新書）、『友愛革命は可能か——公共哲学から考える』（平凡社新書）、など多数。



プログラム

* 来聴歓迎 *

15：00～16：30 講演
16：30～17：00 質疑応答

<会場案内図>



～お問い合わせ～
連帯社会研究交流センター（ReCSS）
e-mail： info@recss.jp
URL： <http://recss.jp>